

選択B：話す

【時間・コマ数】

週1日、全16コマ（1コマ50分）

【クラス人数・クラス数】

6人～7人、全1～3クラス（選択）

【注意事項】

カジュアルな会話は扱わない。希望する者は会話パートナーに申し込むこと。

【共通教材】

「洗練された会話のための表現集」IUC 自作教材（申田紀代美・結城佐織 2016）

Aクラス：22-23年度

【到達目標】

- ・自分の意見を十分に説明することができる
- ・適切な質問をしながら話が進められる
- ・適切なパラフレーズができる
- ・表現を効果的に使いながら、一般的な内容の討論・質疑応答を進めることができる
- ・初級文法の言い間違いをなくす

【授業概要】

- ・発音・アクセント・イントネーションの練習
- ・会話技術：意見の言い方・説明の仕方・パラフレーズの仕方の練習
- ・討論
- ・敬語を使った会話練習

【予習・課題】

(1)発音

- ・授業で指定された文（表現など）を録音し、音声ファイルを提出用フォルダーにアップロードする。

(2)会話技術

- ・会話の定型表現の内容を理解し、声に出してスムーズに言えるまで練習する。

(3)討論

- ・討論の話題について自分で調べ、賛成意見と反対意見の要点のメモを書いてクラスに来る。

(4)敬語を使った会話

- ・会話を声に出してスムーズに言えるまで練習する。

Bクラス：22-23年度

【到達目標】

- ・はっきりと聞き取りやすい発音で話すことができる
- ・日本語らしいアクセント、イントネーションで話すことができる
- ・自然な雑談ができるようになる
- ・ニュースを報告し、自分の意見が言えるようになる

【授業の流れ】

- ・発音、アクセント・イントネーション練習
- ・雑談タイム
 - ▶今日のポイント
 - ▶2, 3人で雑談（テーマあり）×3
- ・ニュース報告
 - ▶自分が見たニュースとそれに対する自分の意見を1分で報告×3
- ・話し合い
 - ▶担当者はPWの内容、あるいは学期末の発表会で話したいと思っている内容について5分以内で話し、ディスカッションポイントを提示する（ディスカッションポイント以外は準備不要。できるだけ即興で話す）
 - ※「話し合い」は録音する

【宿題】

- ・「話し合い」で録音した音声を聞き直し、自分が話したことを、そのままタイプする。
→タイプした自分の発話を分析して、どうすればより上手く話すことができるようになるかを考える。
- ・発音、イントネーション練習をする。
- ・ニュース（文字でも動画でも可）を見て、報告したいものを選んでおく。

Cクラス：22-23年度

【到達目標】

- ・発表に必要な表現などを正確に発音できる
- ・発表に必要な表現などを使い、議論や話し合いをすることができる
- ・発表に必要な表現などを使い、議論や話し合いを回すことができる
- ・敵対的にならずに、建設的な議論や話し合いができる

【授業概要】

- ・音読
- ・即興スピーチ（準備1分、発表2分）
- ・アテレコ（無声アニメを見て会話を作り発表）
- ・ディスカッションのためのレクチャー
- ・ディスカッション
- ・ディベート
- ・ホテルスタッフの日本語会話

【ディスカッション・ディベートのテーマ】

- ・赤ちゃんがいる席を表示する JAL の「幼児マーク」
- ・動物カフェにおける倫理的な問題
- ・ChatGPT
- ・自衛隊の活動・役割の拡大
- ・テレビ番組を見て討論
- ・昆虫食
- ・王政・天皇制
- ・IUC レギュラーコースを振り返って

【教材】

- ・ OJAD（オンライン日本語アクセント辞書：Online Japanese Accent Dictionary）
<http://www.gavo.t.u-tokyo.ac.jp/ojad/eng/pages/home>
- ・ 平井悦子、三輪さち子『中級を学ぼう 中級中期』スリーエーネットワーク